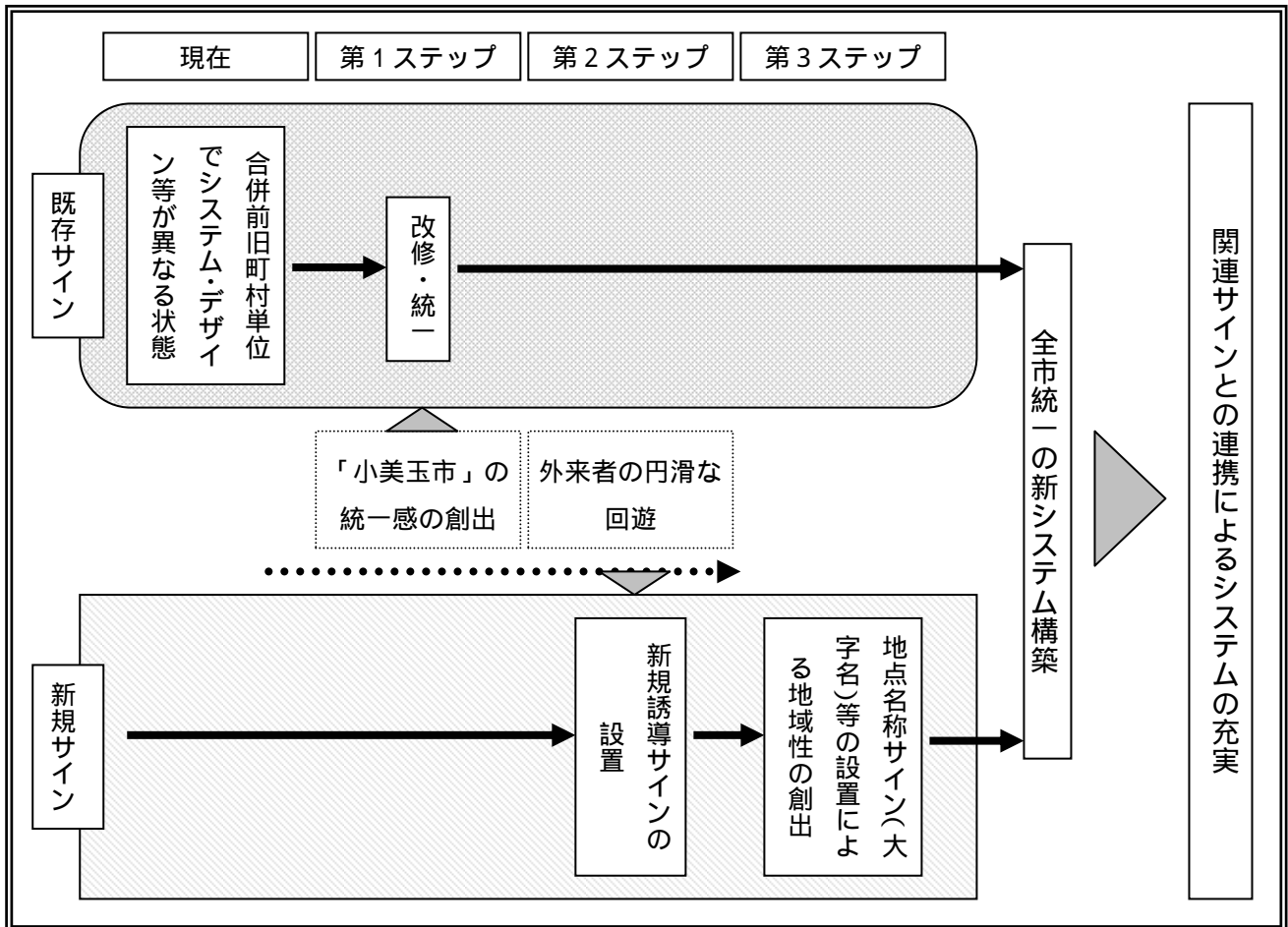


第8章 サインシステムの整備年次計画

8 - 1 整備計画の考え方

本サインシステムを有効に機能させるために、限られた財源の中で優先順位をつけていく必要がある。また、本計画をふまえ、関連サイン等への働きかけにより、システムのより一層の充実と、「小美玉市」としての統一感の創出を図る。

フロー図



現在、小美玉市内には、合併前の旧町村単位で異なるシステム・デザイン等のサインが設置されている。

よって、まずは「小美玉市」としてのアイデンティティを創出するため、誘導サインやゲートサイン、案内サイン等、旧町村単位で設置された既存サインの改修を行い、全市としての統一感を図る。【第1ステップ】

次に、市民、及び市外からの来訪者を主要な公共施設まで円滑に誘導するため、重要な道路や施設から優先的に、新規に誘導サインを設置していく。【第2ステップ】

さらに、「小美玉市」としての統一感を保ちながら地域性の創出を図るため、美野里地区の既存地点名称サインの改修及び、小川地区・玉里地区への地点名称サインの新規設置を行う。【第3ステップ】

これにより全市統一の新システム構築となるが、今後、施設の新設、まちづくりの変動等により新たにサイン設置等の必要性が生じた場合は、各所管において、本計画の考え方に基づいたサインの設置等に配慮するものとする。